

# 生徒ソーシャルメディアポリシー

現在、SNS（X・Instagram・TikTok・Facebook・LINE等）などを代表とするソーシャルメディアを利用する高校生が増えています。利用方法に注意しないとトラブルに巻き込まれ、知らないうちに自身が被害者にも加害者にもなりえるということを理解してもらいたいと思います。生徒の皆さんは、社会的責任をとることが不可能であることから、もし使用する場合はくれぐれもご家庭でよく相談してください。ご家庭のルールに基づいて、安全な使用方法と適切な使用頻度を守ることがを願います。また、インターネット端末の利用については保護者の責任であることの理解を求めたいと思います。

本校では、生徒のソーシャルメディアの利用は保護者管理の下における「自己責任」であると考えます。利用に関して以下に学校としての基本的な考え方を示します。

1. ソーシャルメディアは世界につながっています  
インターネットで書き込んだ内容は、世界中の人に見られているという認識を持ってください。一度書き込んだ発信内容は、完全に削除することができません。本人が削除したとしても、誰かが保存しているかもしれません。公開範囲を限定してもその危険性はあります。世界中の人に情報発信をしていることを理解し、覚悟を持って利用してください。利用は自己責任です。
2. 個人情報に関する記載はやめましょう  
個人が特定できる情報（個人名、学校名、住所、年齢、性別）などの記載は特に気をつけましょう。制服やユニフォームを着用した写真は学校や個人が特定されますので注意が必要です。日記など公開範囲を限定しても情報はインターネット上では永久に残ります。将来にわたって参考情報として閲覧される可能性があることを覚悟しましょう。進路や就職に際し不利益となる恐れもあります。
3. 友達の情報は確認をとりましょう  
友達の情報を載せる際には、友達をインターネット上の危険にさらしてしまうことを充分理解する必要があります。日記一行、写真一枚についても、必ず友達の確認を取りましょう。間違った内容を書いてしまった場合はすぐ訂正しましょう。その際は、直接誠実に謝りましょう。
4. 学校の名誉や人を傷つけるような書き込みをしない  
学校に対する誹謗中傷や名誉を傷つけるような掲載をしてはいけません。また、クラスの友人や他人のことを誹謗中傷するような内容の書き込みが発覚した場合、学校はその行為を許しません。当然、「携帯」や「パソコン」等のインターネット端末を買い与えた保護者の責任も問うこととなります。
5. 無視する勇気を持ちましょう  
友人が利用しているから利用しなくてはならないということはありません。「利用しない」安全を選択する勇気も大切です。また、ソーシャルメディアは文字だけのやりとりですので、友達の感情が分からず悩むときもあるでしょう。ときには無視する勇気を持ちましょう。
6. 会ったことのない人とのコミュニケーションは気をつけましょう  
その人は本当に信用できる人間ですか？知らない人とコミュニケーションをとる際は、現実世界よりも慎重に判断しましょう。会うことは危険なことだと認識しましょう。
7. 法律を守りましょう  
現実世界でやってはいけないことは、ソーシャルメディア上でもしてはいけません。写真や音楽などに著作権などがあることを理解し、違反しないよう十分に注意してください。これらの行為が発覚した時には、学校においても処分の対象となります。
8. 困ったときには相談しましょう  
ソーシャルメディアへの参加、書き込みなどで困ったときには、一人で悩まず保護者や先生など身近な大人に相談しましょう。また、友人がソーシャルメディアを利用したことで傷ついたり悩んだりしているときもすぐに相談しましょう。

最良のコミュニケーションの方法は、「直接会って話をする」ことだと考えます。同じ空間で顔を合わせ会話することは、同じ言葉でも相手の表情や雰囲気によって意味が変わることもあるのではないのでしょうか。「文字だけの世界」では言葉が独り歩きします。現実社会を生きるために、本当の意味でのコミュニケーション能力を身につけて欲しいと思います。